電話

電話のかけかた／受けかた 2-2
音声電話をかける 2-2
発信時の機能 2-2
緊急電話（110／119／118）発信について 2-3
音声電話を受ける 2-4
着信時の機能 2-4
TVコールのかけかた／受けかた 2-5
TVコール利用時のご注意 2-5
TVコール中の画面の見かた 2-5
TVコールをかける 2-6
TVコールを受ける 2-6
国際電話の利用 2-7
日本国内から国際電話をかける 2-7
海外で電話をかける（世界対応ケータイ） 2-8
国際電話に関する機能 2-9
通話中の機能 2-9
音声電話中に利用できる機能 2-9
TVコール中に利用できる機能 2-10
通話履歴の確認／利用 2-10
通話履歴を確認する 2-11
通話履歴を利用して電話をかける 2-11
履歴表示中に利用できる機能 2-12
メッセージの録音（簡易留守録） 2-12
簡易留守録を設定／解除する 2-12
録音されたメッセージを確認する 2-13
簡易留守録に関する機能 2-13
オプションサービス 2-14
オプションサービスの概要 2-14
転送電話サービス 2-14
留守番電話サービス 2-15
割込通話サービス 2-17
グループ通話サービス 2-18
発着信規制サービス 2-19
発信者番号通知サービス 2-20

電話のかけかた／受けかた

音声電話をかける

まず待受画面で確認！

- 電波状態を確認する。（☞P.1-8）
- 表示を確認する。
  「圏外」「」「」（赤色）「」「」「」
  →ご利用になれません。（☞P.1-8、P.1-9、P.17-10）

1 市外局番から電話番号を入力する

- 同一市内でも必ず市外局番から入力してください。

2 電話番号を確認し、を押す

電話がかかります。

- 相手の声の大きさを調節するには：／

3 通話が終わったら、を押す

通話時間の目安が表示されます。

電話番号の入力を間違えたとき

で消したい数字の後ろにカーソルを移動してクリアを押し、正しい数字を入力します。クリアを長押しすると、入力した数字がすべて消えます。

お知らせ

- 内蔵アンテナ部分（☞P.1-5）を手やシールなどで覆わないでください。電波感度が弱まり、通話、通信のご利用ができなくなる場合があります。

こんなこともできます！

- 音声電話中に利用できる機能（☞P.2-9）
- 通話履歴を利用して電話をかける（☞P.2-11）
- 入力した電話番号を電話帳に登録する（☞P.4-5）
- 電話帳から電話をかける（☞P.4-6）
- スピードダイヤルを利用する（☞P.4-8）

設定 ●通話時間／料金に関する設定 ●本機を閉じるだけで通話や発着信を終了する（☞P.16-10）

発信時の機能

電話番号通知／非通知の設定をする

1 電話番号を入力したあとに[メニュー]→発信者番号設定

2 通知／非通知

- 常に通知／非通知にするには（発信者番号通知サービス☞P.2-20）

プッシュ信号を送り出す（ポーズダイヤル）

プッシュ信号を送って、チケットの予約や銀行の残高照会などのサービスを利用できます。ダイヤルデータをあらかじめポーズで区切って入力しておくと、自動的に送出します。

1 電話番号入力中に（長押し）→ダイヤルデータを入力

緊急電話（110／119／118）発信について

本機の各機能を利用して発信を制限しているときでも、110番（警察）、119番（消防・救急）、118番（海上保安庁）へは発信できます。

次の場合は発信できませんので、ご注意ください

- 電波OFFモードが**ON**のとき
- PINコード入力画面が表示されているとき（PINコード設定が**ON**で電源を入れたとき）
- USIMカードが挿入されていないとき（発信してもつながりません）

緊急通報位置通知について

緊急通報位置通知とは、本機から緊急通報を行った場合、発信した際の位置の情報を緊急通報受理機関（警察など）に対して通知するシステムです。
本機では受信している基地局測位情報をもとに算出した、位置情報を通知します。

- 発信場所や電波の受信状況により、正確な位置が通知されないことがあります。緊急通報受理機関に対して、必ず口頭で発信場所や目標物をお伝えください。
- 基地局測位情報の精度は、数100m～10km程度となります。また、実際の位置とは異なった位置情報が通知される場合があります（遠方の基地局電波を受信した場合など）。
- 緊急通報位置通知機能は、接続先となる緊急通報受理機関が、位置情報を受信できるシステムを導入したあとにご利用いただけるようになります。
- 「184」を付けて、「110」、「119」、「118」の緊急通報番号をダイヤルした場合などは、緊急通報受理機関に位置情報は通知されません。ただし、緊急通報受理機関が人の生命等に差し迫った危険があると判断した場合には、同機関が発信者の位置情報を取得する場合があります。
- 海外ローミングを使用している場合は対象外となります。
- 申込料金、通信料は一切必要ありません。

音声電話を受ける

電話がかかってくると

着信音が鳴り、着信／充電ランプが点滅します。

相手が電話番号を通知してきたときは、ディスプレイに電話番号が表示されます。
電話帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。

1 **を押し、相手と話す**

●相手の声の大きさを調節するには：通話中に／

2 **通話が終わったら、を押す**

通話時間の目安が表示されます。

お知らせ
●相手の電話番号が通知されてこなかったときは、「非通知」と表示されます。

こんなこともできます！
●音声電話中に利用できる機能（☞P.2-9）
●特定の種類の着信を拒否する ●特定の電話番号からの着信を拒否する（☞P.11-5）
設定 ●いろいろなボタンで着信に応答できるようにする ●本機を開くだけで着信に応答する ●本機を閉じるだけで通話や発着信を終了する（☞P.16-10）

着信時の機能

着信中に以下の機能が利用できます。

着信音を消す	> [ミュート]
着信を保留する	>
簡易留守録で応答する※	> クリア/BS
着信を拒否する	> [拒否]
電話を転送する	> [転送] ●転送電話サービス（☞P.2-14）を開始しておいてください。開始していないと、着信は拒否されます。

※ 音声電話着信時のみ

TVコールのかけかた／受けかた

TVコール対応機どうしで、お互いに相手が送ってきた画像を見ながら通話できます。

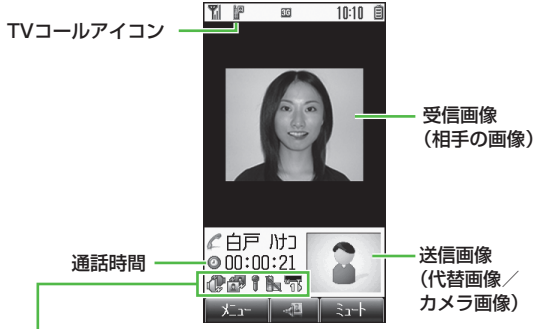
- 相手に送信する画像は、お買い上げ時は**代替画像**に設定されていますが、カメラを使って風景などの画像を送信することもできます。

TVコール利用時のご注意

- TVコールは3Gサービスエリア内でのみ使用できます。
- 本機は国際標準の3G-324M規格に準拠しています。異なる方式の携帯電話と接続したときは、TVコール通話が切れることがあります。このときは、通話が切れるまでの通話料金がかかります。
- スピーカーホンをご利用のときは、受話音量を大きくすると会話しづらくなることがあります。このときは、音量を下げて通話することをおすすめします。
- TVコール通話中は本機の温度が上がりますが、故障ではありません。
- 音声、画像の送受信に失敗した場合、自動的には復旧しません。再度TVコールをおかけ直しください。

TVコール中の画面の見かた

例）



設定／通話状態を表すアイコン

- 音声送受信中
- 音声送信成功／受信失敗
- 音声送信失敗／受信成功
- 音声送受信失敗
- 画像送受信中
- 画像送信成功／受信失敗
- 画像送信失敗／受信成功
- 画像送受信失敗
- 送話マイクがON
- 送話マイクがOFF（ミュート）
- カメラ画像送信中
- 代替画像送信中
- 1 - 25 送信画像のズームレベル（1～25）

- 表示される画像の大小やアイコンは、設定や送受信の条件によって異なります。

TVコールをかける

まず待受画面で確認！

- 電波状態を確認する。（☞P.1-8）
- 他の表示を確認する。
  「圏外」「」「（赤色）」「」「」「」
  →ご利用になれません。（☞P.1-8、P.1-9、P.17-10）

1 電話番号を入力する

2 電話番号を確認し、を押す

相手が電話に出ると、代替画像と相手の画像が表示されます。相手の声はスピーカー（本体背面）から聞こえます。

- 相手の声の大きさを調節するには：
- カメラ画像に切り替えるには：→**カメラ画像**

3 通話が終わったら、を押す

お知らせ

- マナーモード設定中は、相手の声は受話口から聞こえます。スピーカーから聞こえるようにするには、スピーカーホンをONにしてください。（☞P.2-10）

こんなこともできます！

- 発信時の機能（☞P.2-2）
- TVコール中に利用できる機能（☞P.2-10）
- 通話履歴を利用して電話をかける（☞P.2-11）
- 入力した電話番号を電話帳に登録する（☞P.4-5）
- 電話帳から電話をかける（☞P.4-6）

設定 ●相手に送信する代替画像を変える（☞P.16-13）

TVコールを受ける

TVコールがかかってくると

着信音が鳴り、着信／充電ランプが点滅します。

相手が電話番号を通知してきたときは、ディスプレイに電話番号が表示されます。電話帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。

1 ／を押して電話に出る

2 相手にカメラ画像を送信する場合
[YES]

カメラ画像が相手に送信されます。

- 相手の声の大きさを調節するには：

相手にカメラ画像を送信しない場合

[NO]

代替画像が相手に送信されます。

●相手の声の大きさを調節するには：

3 通話が終わったら、を押す

お知らせ

●手順2で相手に送信する画像を選択しなかった場合は、代替画像が送信されます。

●マナーモード設定中は、相手の声は受話口から聞こえます。スピーカーから聞こえるようにするには、スピーカーホンをONにしてください。（☞P.2-10）

こんなこともできます！

●着信時の機能（☞P.2-4）

●TVコール中に利用できる機能（☞P.2-10）

設定 ●相手に送信する代替画像を変える（☞P.16-13）

国際電話の利用

日本国内から国際電話をかける

●お申し込み手続き不要でご利用いただけます。

1 電話番号を入力

2 [メニュー]→国際発信

国/地域番号リストが表示されます。

3 相手の国/地域を選択

4 音声電話の場合

TVコールの場合

■ 直接国/地域番号などを入力してかける

> →0（長押し）で「+（国際コード）」を表示させる→国/地域番号を入力→電話番号を入力（先頭の「0」を除く）→音声電話：／TVコール：

●国際コードは、お買い上げ時は「0046010」に設定されていますが、変更することもできます。（☞P.16-9）

●イタリア（国/地域番号39）にかける場合は、電話番号の先頭の「0」は省かずに入力してください。

海外で電話をかける（世界対応ケータイ）

- 世界対応ケータイのしくみ、使用できる国や地域、料金などの詳細については、ソフトバンクモバイルホームページ（http://www.softbank.jp）でご案内しています。また、使用できる機能や制限などについては、お問い合わせ先（☞P.17-30）までご連絡ください。
- 世界対応ケータイのご利用には、別途お申し込みが必要です。
- 海外にお出かけになるときは、「世界対応ケータイサービスガイド」を携帯してください。

例）海外発信アシストがONの場合

- お買い上げ時は海外発信アシスト（☞P.16-9）が**ON**に設定されています。

1 **音声電話の場合**

電話番号を入力→(発)

TVコールの場合

電話番号を入力→(TV)

2 項目を選択（下記参照）

項目	操作・補足
日本の番号へ発信※	日本の番号へ発信します。
滞在国/地域の番号へ発信	滞在している国/地域の番号へ発信します。
その他の国/地域の番号へ発信※	その他の国/地域の番号へ発信します。 > 国/地域を選択→音声電話：(発)／TVコール：(TV)
このまま発信	入力した番号のまま発信します。 滞在している国/地域の番号へ発信するときに選択します。

※ 電話番号の先頭の「0」を削除し、国際コードと国/地域番号（「+81」など）を付与して発信します。（イタリアの場合は、電話番号の先頭の「0」を削除しません。）

お知らせ

- 手順1で直接国際コードと国/地域番号を入力した場合や、国際コードと国/地域番号の登録のある電話帳を選択した場合などは、そのまま発信されます。

国際電話に関する機能

国/地域番号リスト表示中に新しい番号を登録する

> 日本国内の場合：電話番号を入力→✉[メニュー]→**国際発信**→✉[メニュー]→**追加**→国/地域名を入力→国/地域番号を入力

> 海外の場合：電話番号を入力→音声電話：📞／TVコール：📺→**その他の国/地域の番号へ発信**→✉[メニュー]→**追加**→国/地域名を入力→国/地域番号を入力

ネットワークモードを切り替える

《お買い上げ時》自動

> **メインメニューから 設定▶通話設定▶通話サービス▶国際設定▶3G/GSM選択**▶項目を選択（下記参照）

項目	操作・補定
自動	日本国内と海外の3G／GSMサービスエリアで使用できます。日本国内では3Gのみ、海外では3GとGSMの両方を検索します。
手動	> 項目を選択 ・**3G/GSM**：日本国内と海外の3G／GSMサービスエリアで使用できます。3GとGSMの両方を検索します。 ・**3G**：日本国内と海外の3Gサービスエリアで使用できます。 ・**GSM**：海外のGSMサービスエリアで使用できます。日本国内では使用できません。

●通常は**自動**でお使いになることをおすすめします。

こんなこともできます！

設定 ●国際コードを変える ●国/地域番号リストの国/地域番号を編集する ●使用する通信事業者を選択する ●通信事業者を自動で選択する場合の優先度を設定する ●海外発信アシストを無効にする（☞P.16-9）

通話中の機能

音声電話中に利用できる機能

受話音量を調節する	> 🔊／🔉 ●1秒以内に調節してください。 ●通話終了後や電源を切っても、変更した音量は保持されます。
通話を保留する	> 📞 ●通話に戻るには：📞 ●保留の利用には、割込通話サービスまたはグループ通話サービスのお申し込みが必要です。（☞P.2-17、P.2-18）
スピーカーホンのON／OFFを切り替える	スピーカー／受話口から相手の声が聞こえるように切り替えます。 > ✉[メニュー]→**スピーカーオン／スピーカーオフ**
通話を録音する（ボイスレコーダー）	1件あたり最大60秒間録音できます。 > ● ●録音を終了するには：● ●録音した音声は着うた・メロディフォルダに保存されます。（☞P.9-2） ●✉[メニュー]→**録音**でも録音できます。
電話帳を確認する	> ✉[メニュー]→**電話帳**→電話帳を選択
SMSを作成して送信する	> ✉[メニュー]→**SMS新規作成**→宛先と本文を入力→Y!**[送信]**

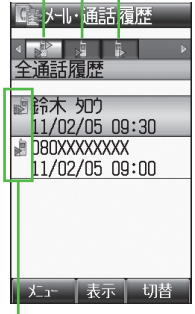
TVコール中に利用できる機能

受話音量を調節する	> [◎] ●1秒以内に調節してください。 ●通話終了後や電源を切っても、変更した音量は保持されます。
スピーカーホンのON／OFFを切り替える	スピーカー／受話口から相手の声が聞こえるように切り替えます。 > [✉][メニュー]→ **スピーカーオン／スピーカーオフ**
双方の画像の大小を切り替える	> [✉][メニュー]→**画面切替→相手画像大／自画像大**
画像／音声設定を変える	相手に送信する画像と音声の設定を変更します。 > [●]→項目を選択（下記参照） ・**カメラ画像**：カメラで撮影中の動画を送信します。 ・**代替画像**：代替画像を送信します。 ・**送話ミュート**：カメラ画像だけを送信し、音声は送信しません。 ・**代替画像＆送話ミュート**：代替画像を送信し、音声は送信しません。
相手にこちらの音声が聞こえないようにする	> [Y!][ミュート] ●送話音声の状態を示すアイコンが「🎤」になります。 ●元に戻すには：[Y!][ミュート オフ]
ズームを使う	送信するカメラ画像のズームレベルを調節します。 > [◎]（望遠）／[◎]（広角）
電話帳を確認する	> [✉][メニュー]→**電話帳**→電話帳を選択

通話履歴の確認／利用

発着信した相手の電話番号や日時が履歴として記憶されるので、過去に発着信した相手にかけ直すことができます。

全通話履歴：すべての発着信履歴
着信履歴：かかってきた電話の履歴（最大50件）
発信履歴：かけた電話の履歴（最大50件）



着信／発信の状態を表すアイコン

- 応答した音声電話着信
- 応答したTVコール着信
- 応答しなかった音声電話着信
- 応答しなかったTVコール着信
- 拒否した音声電話着信
- 拒否したTVコール着信
- 発信した音声電話
- 発信したTVコール

通話履歴を確認する

1 で履歴の種類を選ぶ

2 個々の履歴の詳細を確認するには、履歴を選択

■ メール履歴に切り替える

> 手順1のあと、**[切替]**

● メール履歴について（☞P.13-15）

お知らせ

- 新しい履歴から順に一覧表示されます。電話帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。
- 同じ番号に2回以上電話をかけたときは、最後にかけた日時のデータだけが全通話履歴と発信履歴に記憶されます。
- 電源を切っても履歴は消えません。
- 最大件数を超えたときは、古いものから削除されます。
- **メインメニューから 電話機能▶メール・通話履歴**でも表示できます。

こんなこともできます！

設定 ●不在着信があるときに本機を開くと着信履歴を直接表示する（☞P.16-10）

通話履歴を利用して電話をかける

1 で履歴の種類を選ぶ

2 履歴を選んで **[メニュー]→発信**

3 **音声電話の場合**

音声

TVコールの場合

TVコール

国際電話の場合

国際発信→相手の国/地域を選択→音声電話：／TVコール：

■ 電話番号の通知／非通知を選択してから電話をかける

> 手順3で**番号通知／番号非通知→[メニュー]→発信→音声／TVコール**

履歴表示中に利用できる機能

通話履歴／メール履歴を表示中に✉[メニュー]を押すと、次の操作ができます。

項目	操作・補足
表示	履歴の詳細を表示します。
発信	履歴の電話番号に電話をかけます。
メール新規作成※	> **S!メール／SMS**→メールを作成（S!メール☞P.13-4手順4以降／SMS☞P.13-8手順4以降）
電話帳へ登録	> **新規登録**／追加登録する相手を選択→登録の操作を行う（☞P.4-3手順2以降）
削除	> **1件**／**全件**→✉[YES]（→**全件**を選択した場合は、操作用暗証番号を入力）

※ 通話履歴の場合は、相手がソフトバンク携帯電話の場合のみ送信できます。

メッセージの録音（簡易留守録）

あらかじめ設定しておくと、かけてきた相手のメッセージを最大8件まで本機に録音できます。

- 簡易留守録を設定すると、待受画面に「📼」が表示されます。
- 簡易留守録は、電源が切れているとき、電波OFFモード設定中や「圏外」「📍（赤色）」の表示が出ているときは使用できません。このときは、オプションサービスの留守番電話サービスをご利用ください。（☞P.2-15）

簡易留守録を設定／解除する

《お買い上げ時》OFF

1 クリア/ロック（長押し）

- 設定を切り替えるには、同様の操作を行います。

解除中に電話がかかってきたときに設定する

> クリア/ロック

- 簡易留守録が**ON**になり、録音を開始します。通話終了後も設定は保持されます。

お知らせ

- **メインメニューから ツール▶簡易留守録▶設定▶ON/OFF**でも設定／解除できます。
- 録音件数がいっぱいの状態で簡易留守録を**ON**にしても、簡易留守録は動作しません。不要なメッセージを削除してください。（☞P.2-13）
- TVコール着信は簡易留守録を利用できません。

録音されたメッセージを確認する

新しいメッセージが録音されると、待受画面にインフォメーション（☞P.1-18）と「✉」が表示されます。

1 インフォメーションの**簡易留守録**を選択

2 メッセージを選択

メッセージが再生されます。
再生が終わると、インフォメーションと「✉」は消えます。

お知らせ

- 待受画面でクリアを押す、または**メインメニューから ツール▶簡易留守録▶簡易留守録リスト▶**メッセージを選択でも再生できます。

簡易留守録に関する機能

共通操作▶ **メインメニューから ツール▶簡易留守録**

■ 応答時間を設定する

《お買い上げ時》18秒

電話がかかってきてからガイダンスが流れるまでの時間を設定します。

> **設定→応答時間→**応答時間を入力

- 簡易留守録をオプションサービスの留守番電話サービス、または転送電話サービスと合わせてご利用になるときは、応答時間の設定により、優先順位が変わります。

例）簡易留守録の応答時間…18秒／各サービスの応答時間…20秒と設定すると、簡易留守録が優先されます。（ただし、電波状況により優先順位が変わることがあります。）

- 簡易留守録を優先していても、録音件数がいっぱいになると転送電話／留守番電話サービスが優先されます。

■ 録音した相手に電話をかける

> **簡易留守録リスト→**メッセージを選んで✉**[メニュー]→発信**

■ メッセージを削除する

> **簡易留守録リスト→**（メッセージを選んで）✉**[メニュー]→削除／全件削除→**✉**[YES]**（**→全件削除**を選択した場合は、操作用暗証番号を入力）

■ 録音した相手を電話帳に登録する

> **簡易留守録リスト→**メッセージを選んで✉**[メニュー]→電話帳へ登録→新規登録**／追加登録する相手を選択→登録の操作を行う（☞P.4-3手順2以降）

オプションサービス

オプションサービスの概要

本機では、次のオプションサービスが利用できます。

- お申し込み、一般電話からの操作、サービスの詳細についてはソフトバンクモバイルホームページ（http://www.softbank.jp）でご案内しています。

転送電話サービス（☞右記）	電源を切っているときや電波の届かない場所にいるとき、電話に出られないときなどに、かかってきた電話を指定した電話番号に転送します。
留守番電話サービス（☞P.2-15）	電源を切っているときや電波の届かない場所にいるとき、通話中のため電話に出られないときなどに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。 ●着信お知らせ機能（☞P.2-16）
割込通話サービス※（☞P.2-17）	通話中の相手を保留にして、別の相手からの電話を受けられます。また、通話相手を切り替えることもできます。
グループ通話サービス※（☞P.2-18）	通話中に別の相手に電話をかけ、相手を切り替えながら通話したり、自分も含め最大で6人同時に通話できます。
発着信規制サービス（☞P.2-19）	電話（音声電話／TVコール）の発着信やSMSの送受信を規制します。
発信者番号通知サービス（☞P.2-20）	お客様の電話番号を相手に通知したり、非通知にすることができます。

※ 別途お申し込みが必要です。

転送電話サービス

- 転送電話サービスと留守番電話サービスは同時に利用できません。
- TVコール着信を転送する場合は、3G-324M規格に準拠したTVコール対応機を転送先に設定してください。転送先が対応していない場合は、TVコールは転送されません。

転送電話サービスを開始する

メインメニューから 設定▶通話設定▶通話サービス▶留守番・転送電話▶転送ON

1 着信の種類を選択

2 項目を選択（下記参照）

項目	操作・補足
呼び出しなし	着信音を鳴らさずにすべての着信を転送します。
呼び出しあり	呼び出し時間内に応答できなかった着信を転送します。

3 **電話帳から転送先を選ぶ場合**

電話帳→転送相手を選択→電話番号を選択

直接転送先の電話番号を入力する場合

直接入力→電話番号を入力

4 手順2で**呼び出しあり**を選択した場合、呼び出し時間を選択

■ **転送電話サービスの設定内容を確認する**

> **メインメニューから 設定▶通話設定▶通話サービス▶留守番・転送電話▶現在の設定確認**

■ **転送電話サービスを停止する**

> **メインメニューから 設定▶通話設定▶通話サービス▶留守番・転送電話▶留守番・転送全てOFF▶◉**

お知らせ

- 転送先には、フリーダイヤルや国際電話など一般転送先として望ましくない番号は登録できません。
- 転送電話サービスと簡易留守録を合わせてご利用になるときは、呼び出し時間の短い方が優先されますのでご注意ください。（ただし、電波状況により優先順位が変わることがあります。）
- **呼び出しあり**に設定している場合、着信音が鳴っている間（呼び出し時間内）に以下の操作ができます。
  - ・通話するには：✆
  - ・転送するには：✉**[転送]**

留守番電話サービス

- 留守番電話センターへの転送は、転送電話サービスを利用します。そのため、転送電話サービスと留守番電話サービスは同時に利用できません。
- TVコールの着信には利用できません。

留守番電話サービスを開始する

メインメニューから 設定▶通話設定▶通話サービス▶留守番・転送電話▶留守番電話ON

1 項目を選択（下記参照）

項目	操作・補足
呼び出しなし	着信音を鳴らさずにすべての着信を転送します。
呼び出しあり	呼び出し時間内に応答できなかった着信を転送します。 > 呼び出し時間を選択

■ **留守番電話サービスの設定内容を確認する**

> **メインメニューから 設定▶通話設定▶通話サービス▶留守番・転送電話▶現在の設定確認**

■ **留守番電話サービスを停止する**

> **メインメニューから 設定▶通話設定▶通話サービス▶留守番・転送電話▶留守番・転送全てOFF▶◉**

お知らせ

- 留守番電話サービスと簡易留守録を合わせてご利用になるときは、呼び出し時間の短い方が優先されますのでご注意ください。（ただし、電波状況により優先順位が変わることがあります。）
- **呼び出しあり**に設定している場合、着信音が鳴っている間（呼び出し時間内）に以下の操作ができます。
  - ・通話するには：
  - ・転送するには：**[転送]**

伝言メッセージを再生する

新しい伝言メッセージが留守番電話センターに保存されると、待受画面にインフォメーション（☞P.1-18）と「」が表示されます。

1 インフォメーションの**留守電メッセージ**を選択

以降の操作はアナウンスに従ってください。
再生が終わると、インフォメーションと「」は消えます。

■ 伝言メッセージの詳細を確認してから再生する

着信履歴で伝言メッセージを入れた相手の電話番号や日時を確認したあと、再生できます。

- **着信お知らせ機能**を開始しておく必要があります。（☞右記）

> で着信履歴を表示→留守電のお知らせを選択→詳細を確認→**[メニュー]→留守番電話再生**

お知らせ

- **メインメニューから 設定▶通話設定▶通話サービス▶留守番・転送電話▶留守番再生**でも再生できます。

着信お知らせ機能を利用する

着信お知らせ機能を開始すると、電源を切っているときや圏外にいて受けられなかった着信、通話中の着信をインフォメーションでお知らせします。

- 留守番電話サービスを開始しているときだけ、利用できます。

メインメニューから 設定▶通話設定▶通話サービス▶着信お知らせ機能

1

ネットワークに接続されます。
以降の操作はアナウンスに従ってください。

着信お知らせ機能設定中に着信があると

電源を入れたり圏内に入ると、**着信のお知らせ**のインフォメーションが表示されます。インフォメーションを選択すると着信履歴が表示されます。

- 伝言メッセージが録音されている場合は**留守電メッセージ**のインフォメーション（☞左記）が表示されます。

割込通話サービス

割込通話サービスを開始／停止する

メインメニューから 設定▶通話設定▶通話サービス▶割込通話

ネットワークに接続後、設定確認画面が表示されます。

1 **[メニュー]→解除／設定**

■ 割込通話サービスの設定内容を確認する

> **メインメニューから 設定▶通話設定▶通話サービス▶割込通話**

割込通話を受ける

1 通話中に割込音が聞こえたら、

- を押すたびに通話相手が切り替わります。
- 通話中の相手が電話を切ると、通話中の電話は切れます。
- を押すと、保留中の相手と通話できます。
- を押すと、すべての電話が同時に切れます。

■ 割込通話を拒否する

> 割込音が聞こえたら、**[拒否]**

お知らせ

- 割込通話サービスと、転送電話サービスや留守番電話サービスを**呼び出しあり**に設定して、同時に利用中の場合、通話中にかかってきた電話に出なければ、その電話は転送先、または留守番電話センターに転送されます。
- 転送電話サービスや留守番電話サービスを**呼び出しなし**に設定して利用中の場合、割込通話は受けられません。

グループ通話サービス

● グループ通話サービスのご利用には、別途お申し込みが必要です。

通話中に別の相手に電話をかける

1 通話中に電話番号を入力→(発)

通話中の相手を保留にし、別の相手と通話できます。

■ 電話帳を使って別の相手に電話をかける

> 通話中に(メ)**[メニュー]→電話帳**→電話帳を選択→電話番号を選択→(発)

相手を切り替えながら通話する[切替通話]

1 通話中に、(発)

- (発)を押すたびに通話の相手が切り替わります。
- 通話中の相手が電話を切ると、通話中の電話のみ切れます。
- (発)を押すと、保留中の相手と通話できます。
- (終)を押すと、すべての電話が同時に切れます。

複数で同時に通話する[グループ通話]

1 切替通話中に、(メ)**[メニュー]→全員と通話**

- 最大6人で同時に通話できます。
- (終)を押すと、すべての電話が同時に切れます。

■ 相手を追加する

> グループ通話中に電話番号を入力→(発)→相手が電話に出たら(メ)**[メニュー]→全員と通話**

■ 参加メンバーを画面に表示する

> グループ通話中に(メ)**[メニュー]→メンバー**

■ メンバーと個別に通話する

> 画面に表示されたメンバーを選んで(メ)**[メニュー]→個別通話**

■ 通話を個別に終了する

> 画面に表示されたメンバーを選んで(Y!)**[通話終了]**→(メ)**[YES]**

発着信規制サービス

- 転送電話サービスまたは留守番電話サービスを開始しているときは、**全発信規制**および**全着信規制**はご利用になれません（転送電話サービスまたは留守番電話サービスが優先されます）。
- サービスをご利用になるためには、交換機用暗証番号（☞P.1-25）が必要です。

発着信規制サービスを開始／停止する

メインメニューから 設定▶通話設定▶通話サービス▶発着信規制

1 **発信規制／着信規制**→項目を選択（下記参照）

項目	操作・補足
全発信規制	緊急通話を除くすべての電話がかけられません。
滞在国/地域以外規制	滞在国/地域以外への電話がかけられません。
日本/滞在国/地域以外規制	滞在国/地域と日本以外への国際電話がかけられません。
全着信規制	すべての電話が受けられません。
国際着信規制	日本以外で電話が受けられません。

2 **[✉][メニュー]→ON／OFF**

3 交換機用暗証番号を入力

■ 発着信規制サービスの設定を確認する

> 手順1で、**現在の設定確認**→項目を選択（☞上記）

■ 発着信規制サービスをすべて停止する

> 手順1で、**規制全停止**→交換機用暗証番号を入力

お知らせ

- 発信規制設定中でも緊急電話番号（110／119／118）への発信はできます。
- 発信規制中に電話をかけようとすると、発信規制中である旨のメッセージが表示されますが、お客様がご利用になる地域によっては、表示されるまでに時間がかかることがあります。メッセージが表示されないときは、発着信規制サービスの設定状況をご確認ください。

発信者番号通知サービス

《お買い上げ時》ネットワーク依存

メインメニューから 設定▶通話設定▶発信者番号通知

1 項目を選択

- **ネットワーク依存**を選択すると、お申し込みいただいた設定になります。

お知らせ

- ここでの設定にかかわらず、電話番号の前に次の数字を付けて入力すると、発信ごとに電話番号の通知／非通知を選べます。
  通知：①⑧⑥または＊③①#
  非通知：①⑧④または#③①#